

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(一)有明大町線			
事業毎の通番		2	市町村名	安曇野市	箇所名(ふりがな)	宮城北(みやしろきた)		
事業概要	事業目的	一般県道有明大町線は、安曇野市を起点として大町市に至る道路で、国営公園アルプスあづみの公園の堀金・穂高エリアと松川・大町エリアを結ぶ路線に位置しています。このうち、安曇野市の宮城工区については、平成20年度から道路改築事業を実施しており、現道拡幅区間の整備が行われています。この先線となる安曇野市～松川村間について、幅員狭小、かつ、線形不良となっています。このため、当該区間の道路改良を行うことにより、安全で安心な道路交通網の形成を図りたい。						
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法			
	関連する事業、計画等	安曇野市道路整備推進計画						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：2,833台 (平成27年度 道路交通調査：2,808台/日)						
	着手年度	平成30年度	事業期間	8年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成37年度	費用対効果	1.2	国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容(主な工種)	道路改築工 L=600m、W=6.0(9.75)m うち、橋梁工 N=1橋、L=64.4m			600,000	270,000		297,000 33,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の減少 走行時間の短縮 交通事故の減少						
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進						
評価の視点	必要性	○計画交通量：2,833台/日 ○代替道路の有無：代替道路があるが、安全性が低い ○医療・福祉・教育施設との連携：福祉施設の1次アクセス ○交通結節点アクセス：JR有明駅への2次アクセス ○観光振興・地域の活性化：安曇野市西山麓の活性化に資する					評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：しあわせ信州創造プラン ○緊急輸送道路の路線指定：避難路線となる路線 ○地域指定：豪雪地帯、積雪地帯に指定(安曇野市)					評価	A
	効率性	○費用便益比(B/C)：1.2 ○事業期間：8年間 ○工法等の比較検討：橋梁及び擁壁工について予備設計による比較検討あり ○他事業との連携：他事業との連携はない					評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数：4件(H24～H28) ○道路環境改善：局部的な線形不良箇所を解消する ○歩道整備：歩道未整備区間に歩道を整備 ○現況の車道幅員、半径、勾配：現況幅員5.0(6.0)m					評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有：関係者を中心に周知(H25.7月、H27.10月に事業説明会を開催) ○地域の取り組み：協力的である(安曇野市 古殿区及び立足区) ○地域の合意形成：合意形成が図られている(安曇野市 古殿区及び立足区) ○住民との協働：沿道の草刈り					評価	A
	部局意見	事業の必要性、重要性、効率性及び緊急性が高いため、平成30年度から新規事業化したい。				採択状況	○	総合評価 A
技術管理室意見	部局の意見を適当と認める。							

**位置図**

**平面図**

**標準横断面図**

**状況写真**

**事業概要説明図表**

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	一般県道有明大町線は、安曇野市を起点として大町市に至る道路で、国営公園アルプスあづみの公園の両エリアを結ぶ路線に位置しています。本事業区間は、安曇野市と北安曇郡松川村間に位置しています。このうち、一級河川穂高川(砂防河川中房川)を渡る橋梁があり、その安曇野市側において線形不良かつ幅員狭小となっている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	国営アルプスあづみの公園(堀金・穂高地区、松川・大町地区)間を往き来する観光路線としても利用がある。一級河川穂高川(砂防河川中房川)を渡る橋梁があり、その安曇野市側において線形不良かつ幅員狭小となっており、自動車の安全な通行確保が要望されている。
③事業説明等の経緯	本事業区間について、平成25年7月に県から沿線住民及び関係地権者へ計画説明が完了している。また、平成27年10月に関係地権者及び水利組合に対して、計画に係る影響範囲について再度説明を行っている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	安曇野市道路整備推進計画と連携している。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	・道路計画地に農業用水取水口があり、水利組合と協議して取水施設に影響しないよう、道路設計に反映。 ・道路計画によりほ場精美済みの農地を分断する区間があり、地権者の要望に対して丁寧な説明を行うよう配慮が必要。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、安曇野市穂高～松川村・大町間の地域活性化も期待される。
⑦その他	コスト削減に係る工法検討として、橋梁及び擁壁工予備設計を実施し

事業代表地点の緯度経度	北緯: N 137° 50' 8" 64 東経: E 36° 22' 58" 65
-------------	--